

核兵器が禁止へー歴史の新たなステップ

国連交渉会議へ「ヒバクシャ国際署名」を大きく

核兵器禁止条約実現へ



5月22日、核兵器禁止条約の草案が発表されました。3月に国連本部でおこなわれた禁止条約交渉会議・第1会期でされた議論をふまえ、会議議長が発表しました。草案は、前文に「ヒバクシャ」の文が入るなど、広島・長崎への原爆投下にみられる核兵器の非人道性を正面からみすえ、その禁止・廃絶をうたっています。被爆者をはじめ、「核兵器のない世界」の実現をもとめる人びとが訴えてきたことが、国際的なルールになるうとしていのです。

草案はまた、核兵器をつくること、もつこと、使うことなどを禁止し、核兵器の違法化をもとめています。6月15日から始まる交渉会議・第2会期で審議、採択される見込です。

わたしたちは、この草案を歓迎し、交渉会議が成功するよう、被爆者がよびかけた「ヒバクシャ国際署名」(目録)を6月の会議に提出します。あなたもぜひ、署名にご協力ください。

あなたの署名が世界を変える

核兵器禁止条約実現への変化をつくりだしたのは、広島・長崎の被爆者をはじめ多くの人びとが、被爆の実相をひろげ、核兵器禁止をもとめる署名を集めるなど、ねばり強く行動を重ねてきた結果です。

残念ながら、核保有国やその同盟国は条約交渉に参加していません。しかし、条約はこれらの国にも開かれています。核兵器禁止条約に、保有国や同盟国政府を加わらせるため行動することが、各国の市民にもとめられています。

被爆国日本の政府は、3月に引き続き、6月の会議にも不参加を表明しました。日本政府は、アメリカの「核の傘」への依存を再検討し、被爆国の政府にふさわしく、禁止条約実現の事業に加わるべきです。日本政府の姿勢を変えるためにも、「ヒバクシャ国際署名」をいつそう広げましょう。



(2017.6.6)

国連認証 NGO・原水爆禁止日本協議会(日本原水協)

TEL03-5842-6031 HP:<http://www.antiatom.org/>